

予算WG

嶋田 不美生

平成 24 年度の技術部運営経費として 136 万円を申請した。内訳は、経常経費として 90 万円、活動経費として 46 万円である。経常経費の内訳は、旅費として 70 万円、物品費として 20 万円である。また、活動経費の内訳は、平成 24 年度機器・分析技術研究会大分大会の開催経費として 40 万円、パソコン組立教室の開催経費として 6 万円である。

旅費の実績としては、技術研究会（愛媛大学）に 3 名、技術講習会（横浜市、大阪市、千葉市、東京都）に 5 名、学会（金沢大学、東北大学、長崎大学、広島大学）に 4 名、がそれぞれ参加した。また、「被災地における理科支援事業」として、石巻市に 2 名を派遣した。物品費の実績としては、技術部報告書第 5 号の発刊（225 部）および事務用品や WG・系・班活動用品などを購入した。

活動経費の実績としては、平成 24 年度機器・分析技術研究会大分大会において、会場案内看板や事務用品等の購入およびポスターボードやスクリーンのレンタル経費とした。また、パソコン組立教室でのパソコン部品およびソフトウェアを購入した。

さらに、研修等実施経費として 98.3 万円が計上され、情報システム統一研修（総務省）に 1 名、技術専門職員・中堅技術職員研修（佐賀大学）に 2 名、スキルアップ研修（熊本大学）に 2 名、技術職員シンポジウム（つくば市）に 2 名、総合技術研究会（愛媛大学）に 4 名、がそれぞれ参加した。また、平成 24 年度機器・分析技術研究会大分大会報告集（350 部）の印刷・製本経費とした。

1. 技術部運営経費【1,360,000 円】

①経常経費

○旅費

- ・総合技術研究会（愛媛大学） 3 名
- ・技術講習会（横浜市、大阪市、千葉市、東京都） 5 名
- ・学会（金沢大学、東北大学、長崎大学、広島大学） 4 名
- ・被災地における理科支援事業（石巻市） 2 名

○物品費

- ・技術部報告書第 5 号発刊(225 部)
- ・事務用品, WG・系・班活動用品

②活動経費

○機器・分析技術研究会開催経費

- ・報告集の印刷・製本（研修等実施経費と併用）
- ・ポスターボード, スクリーンのレンタル
- ・案内看板, 事務用品の購入

○パソコン組立教室開催経費

- ・部品および OS（Windows8）の購入
- ・開催案内チラシの印刷

2. 研修等実施経費【983,000】

・情報システム統一研修（総務省）	1名
・技術専門職員・中堅技術職員研修（佐賀大学）	2名
・スキルアップ研修（熊本大学）	2名
・技術職員シンポジウム（つくば市）	2名
・総合技術研究会（愛媛大学）	4名
・機器・分析技術研究会大分大会報告集	350部

3. 活動記録

平成24年4月13日

- ◆ 旅費の申し合わせ事項について
- ◆ 定額配分旅費該当者への通知について

平成24年6月8日

- ◆ 定額配分旅費該当者の使用計画について
- ◆ 申請旅費の公募について

平成24年10月2日

- ◆ 申請旅費の使用計画について

平成25年1月11日

- ◆ 申請旅費の使用計画について
- ◆ 活動経費（パソコン組立教室）について

平成25年1月21日

- ◆ 配分旅費の使用計画について

平成25年2月18日

- ◆ 研修等実施経費の使用計画について